

令和7年度 学校経営方針

豊島区立長崎小学校長 小山 元

1 学校教育目標（目指す児童像） ※◎は今年度の重点

- ◎よく考え表現する子・・・自らの考えに根拠をもち、たくさん発表する子
- みんなと仲良く分かり合う子・・・自分のよさと他者のよさに気づき、相手を尊重した
応答や表現できる子
- すすんで体をきたえる子・・・自分の目標をもち、目標を達成するために粘り強く運動に
取り組む子

2 目指す学校像

児童、保護者、地域が「学校に求めるもの」は、主に以下のとおりと考える。

【児童が求めるもの】

- (1) 楽しさ 友達や先生とのかかわり 新しいことを知る 自らの力を発揮する 等
- (2) 嬉しさ わかる できる 他者に認めてもらえる 等
- (3) 安心感 居場所がある 仲良く過ごせる 相談できる等

【保護者が求めるもの】

- (1) 安心感 友達と仲良くしている 楽しく通っている 安全である 等
- (2) 子の成長 学力の定着と向上 生活習慣が身につく 規範意識が育つ 等
- (3) 信頼 先生が子供を理解している 対応してくれる 学校の様子がわかる 等

【地域が求めるもの】

- (1) 児童の成長 礼儀 楽しそうな姿・笑顔 地域を愛する心 等
- (2) かかわり 児童との交流 児童の見守り 地域行事への協力 学校施設利用 等

学校に求められるものを踏まえ、目指す学校像を以下のように設定する。

- ・子供たちの笑顔があふれ、安心して過ごせる学校
- ・保護者・地域と連携し、心を育てる教育が展開される学校
- ・教職員が子供たちのために生き生きと働く学校

3 目指す教職員像

「学校教育目標」及び「目指す学校像」を具現化するため、目指す教師像を以下のように設定する。また、教職員が生き生きと働くために、働き方改革として校務改善や指導の合理化を推進する。

- ・子供に愛情を注ぎ、厳しさと温かさをもった指導ができる教職員
- ・向上心をもち、切磋琢磨する教職員
- ・保護者・地域と確かな信頼関係を築く教職員

4 中期経営目標及び今年度の達成目標と具体的方策

「学校教育目標」及び「目指す学校像」の具現化に向け、次の4項目において中期経営目標及び具体的方策を示す。

また、本校の特色を活かし、家庭・地域と共に子供を育てていく。

- (1) 『学力の向上』
- (2) 『豊かな人間性の育成』
- (3) 『体力向上と健康の保持増進』
- (4) 『信頼される学校づくり』

家庭・地域と共に子供を育てる

(1) 【学力の向上】

- 個に応じた指導や補充学習及び少人数・習熟度別指導等を通して、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- 課題解決的な学習や体験的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育成する。

中期経営目標

▷各学年の学習の系統性を踏まえ、小学校における基礎的・基本的な学力の定着を図る。

●今年度の目標

▷主体的な学び方を身に付けさせ、家庭学習の習慣を確立する。

<教員の授業力向上>

- ① 校内研究での学びを日常化することにより、教員一人一人の授業力向上を図る。
- ② 授業改善推進プランの強化週間を実施し、全校体制で取り組む。
- ③ 主任教諭を中心に、若手教員の育成を行う。

<個に応じた指導・補充学習の実施>

- ① 特別支援教育指導員、学級運営補助員、エディケーション・アシスタント等を活用し、個別指導・支援を充実させる。
- ② 「サマースクール」を有効活用し、補充学習を行う。

<家庭での学習習慣の確立>

- ① 家庭学習の目標時間（10分×学年+10分）を設定し、それに沿った量の宿題等を提示する。
- ② 学年ごとに「家庭学習」について「基礎メニュー」「チャレンジメニュー」を提示し、家庭学習の習慣化を図る。

<読書活動の推進>

- ① 朝読書（朝の10分）を週1回実施するとともに、すきま読書を推進する。
- ② 図書室で借りた本を1冊持ち帰らせ、家庭読書を励行する。
- ③ 図書館司書や担任の読み聞かせや、「おはなし会」と連携して、読書活動の充実を図る。

(1) 【豊かな人間性の育成】

- 全教育活動を通して、生命を大切にし、人権を尊重する態度を育むとともに、自己肯定感・自己有用感を高める指導を行う。
- 挨拶や友達との日々のコミュニケーション、異学年間での交流や地域の方々との交流活動等を通して、人間関係形成力を培うとともに、学校や地域を愛する心情を育む。

中期経営目標

▷生命や人権等を尊重する態度を身に付ける。

●今年度の目標

▷自分も他の人も大切にしようとする心情を育む。

＜思いやりの心を育てる教育活動の推進＞

- ① 児童に「思いやりの心」を育む道徳教育を計画的に行う。
- ② 道徳科の趣旨に基づいた日々の教育活動を、全学級において実践する。
- ③ 異学年交流活動（たてわり班活動）を充実させ、上学年児童には模範となる態度、下学年児童には規範意識を身に付けさせる。年間8回の縦割り班活動（遊び・集会）を行う。

＜あいさつの習慣化＞

- ① 日々の挨拶について指導を継続し、児童の挨拶への意識を高める。
- ② 朝の時間に「挨拶当番」として、学級ごとに挨拶の実践活動を行う。

＜伝統文化教育の推進・ふるさと意識の向上＞

- ① SDGs 教育として、豊島区指定無形民俗文化財「長崎獅子舞」を教材とし、取り組む学習や体験を系統立てて位置付け、地域を守る人の工夫や苦勞を理解し、伝承しようとする態度を育てる。
- ② 創立140周年行事を通して、地域や学校を愛する心を育む指導を展開する。

(3) 【体力向上と健康の保持増進】

- 年間を通して体育の授業改善に努めるとともに、外遊びに取り組むことで、日常的に運動に親しむ態度を育成し、体力・運動能力の向上を図る。
- 食育や健康教育を推進し、健康で活力ある生活を営む実践力を育てる。

中期経営目標

▷運動に親しむことを通して、体力・運動能力を向上させるとともに、健康・安全に関する知識等を習得し、健康及び安全な生活を営む力を身に付ける。

●今年度の目標

▷運動に親しむとともに、自分の健康に留意して生活を営む態度を身に付ける。

＜体力・運動能力の向上＞

- ① 体育授業において、自己に適したためあて学習に取り組ませるとともに、十分な運動量を確保する。
- ② 芝生の校庭を活かし、十分に体を動かす感覚を養う指導を展開する。

<心身の健康>

- ① 児童の些細な変化を敏感にとらえ、校内委員会（定例会は月1回、臨時会は必要に応じて実施）で対応について検討するとともに、校内での情報共有を徹底する。
- ② スクールカウンセラーを活用して児童の心の安定を図るとともに、指導改善に取り組む。

<健康教育の推進>

- ① 歯科衛生士による指導、毎日の「歯みがきタイム」、長期休業中の「歯みがきカード」、歯科校医の講話等を通して、正しい歯みがき習慣の確立を図る。
- ② 朝の時間や学級指導の中で、食事の重要性やマナーを理解させ、健康につながる食育を推進する。
- ③ がんに関する正しい理解をもとに、がんの予防につながる健康的な生活について指導する。

<働き方改革>

- ① ICTを活用し、ペーパーレス化を推進するとともに、教材データの共有化を進める。
- ② 毎週水曜日の定時退勤、8月を定時退勤月間とする。

(4)【信頼される学校づくり】

- 保護者・地域と協力し、開かれた学校づくりを実践する。
- 安全・安心な教育環境づくりを行う。

中期経営目標

▷安心・安全で信頼される学校づくりを行う。

●今年度の目標

▷子供たちが安心して過ごせる環境をつくとともに、保護者への丁寧な情報発信を行う。

<丁寧な学級づくり・学級経営>

- ① 一人一人の児童に寄り添った指導を行うとともに、児童の諸問題には、迅速に対応する。
- ② 学校のきまりや学級のきまりについて定期的に指導し、児童の規範意識を高める。

<丁寧な情報発信>

- ① 学校だより・学年だより・配信メール等で、学校情報を正確に伝える。
- ② ホームページを定期的に更新し、学校生活の様子を保護者に発信する。

<いじめ未然防止・早期発見の取組>

- ① 毎月1回学校いじめ対策委員会」を開催し、いじめの実態把握及び情報交換等を行い、児童の心のケアといじめの解消に向け、組織的・継続的に対応する。
- ② 学期に1回「ふれあいデー」を、設定し、児童が気軽に教職員に相談できる環境を整える。
- ③ 年3回の学校生活アンケート、スクールカウンセラーによる全員面接を通して児童の様子の変化を詳細にとらえ共有する。

<安全教育の推進・安全確保の徹底>

- ① 計画的に安全指導と避難訓練を実施し、交通安全教室は、学年に応じて指導を行う。
- ② 毎月「不登校対策委員会」を開催し、早期発見・早期対応に努める。SC、SSW、豊島区児童相談所、民生委員・児童委員等と連携を図る。
- ③ 食物アレルギーについて、教職員間の情報共有を徹底し、適切に対応する。